

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和元年12月10日

No.36

校長 坂野修一

明日は、児童会役員選挙投開票日です！



今年も、熱い選挙戦が繰り広げられています。早川南小学校児童会役員選挙の取り組みです。左の選挙ポスター掲示板のとおり、会長に5年生から3名、副会長に4年生から4名が立候補しています。明日立会演説会が行われ、即日投開票となるわけですが、7名の候補者たちは、何を訴えるのでしょうか？これまでも、教室をまわっての所信表明をする機会がありましたが、だんだんと自信をつけて訴える様子が窺えました。「私ならこうする！」という強い思いを、明日の演説会で訴えてほしいと思います。

立会演説会終了後の投票では、学校を休む子どもがいない限り投票率は100%になるでしょう。その後進学する中学校や生徒会の選挙でも、ほぼ100%の投票率になるでしょう。そうやって、毎年毎年の選挙をしながら、世の中で行われている各種選挙の基礎を学ぶのではないかと思います。私が初めて投票したのは、22歳の時の衆参同時選挙でした。一浪して東京の大学に進み、国分寺市のアパートに住所を移したので東京選挙区の参院選と全国比例、そして国分寺市が選挙区の衆院選に投票したのですが、その時の衆院選で投票したのが「菅直人」だったことは今でもはっきり覚えています。(参院選は全く記憶にありませんが…)あれから33年。どんなにつまらん選挙でも棄権はせず今を迎えています。最近の投票率の低さには閉口してしまいます。

昨年も、新しく投票権を得た18歳・19歳の投票率を示しながら投票率の低下について話題にしましたが、今年は、知事選と参院選がありましたので新しいデータを加えてみました。

公職選挙法改正後の国政選挙&知事選 10代の投票率及び全体の投票率 全国&山梨 参考…早川町

	16参院選			17衆院選			19知事選			19参院選		
	18歳	19歳	全体									
全国	51.28%	42.30%	54.70%	47.87%	33.25%	53.68%	—	—	—	34.68%	28.05%	48.80%
山梨	54.16%	41.51%	58.86%	57.62%	35.14%	60.74%	62.50%	34.50%	57.93%	36.51%	24.60%	51.60%
早川町	?	?	76.51%	?	?	75.18%	?	?	76.32%	?	?	73.81%

注目したいのは、知事選の18歳投票率「62.50%」です。全体の「57.93%」より高いのです。その理由を考えてみると、高校の教室の中で、担任の先生方が、「人生初めての選挙だよ。棄権してはいけないよ」と、おそらく生徒たちに声をかけたと思われます。そんな生徒たちの多くが、その後の参院選には行かなくなってしまうのですから、残念でなりません。(必ずしも同じ人たちではありませんがね…)

今年の参院選キャッチフレーズは、「考える、きっかけ。自分のこと、家族のこと、日本のこと。」でした。本校の児童会役員選挙におきかえれば、「考える、きっかけ。自分のこと、クラスのこと、学校のこと。」となるのでしょうか。なぜ、選挙があるのか、そして、選挙権を行使することがどんなに大事なことを指導するのが主権者教育です。これからの早川南小学校を考えるために大切な一票を投じる子どもたちが、将来は、早川の、山梨県の、そして日本の将来を決める選挙に関わるのです。棄権は危険。選挙は大事です！